

## ご案内

# 日本雑草学会第54回大会 「若手の会・外来雑草問題研究会 合同研究会」

「若手の会」と「外来雑草問題研究会」共催での勉強会を下記のように企画しております。雑草学会の会員でなくてもご参加いただけますので、皆様お誘い合わせの上、奮ってご参加ください。

### 記

#### 【勉強会】

テーマ: 系統関係を考慮した種間比較とは？

#### 趣旨:

Baker (1965, 1974)は、人為的攪乱地に生育する植物を雑草と定義し、雑草に一般的な12の種特性を提示しました。様々な場所で著しく増加する雑草の種特性は“侵略的外来植物”にも通ずると考えられ、外来植物研究においても“侵略種に共通の種特性が存在するのか？”を明らかにしようとする試みが数多く行なわれてきました。そのような研究では、例えば生産種子数や自殖率といった形質において、分布を拡大している種としていない種の間には違いがあるのかを比較します。外来植物を例に述べましたが、刈り取り圧の高い環境に生育する種や、水田輪作で優占する種についても同様に、様々な形質を種間で比較することはよくあるでしょう。その際に問題になるのが系統的制約というものです。

生物は無数の選択枝の中から自由に形質を進化させてきたわけではありません。祖先がどのような形質を持っていたかによって、変化できる幅に制約があります。このため、近縁種はそうでない種よりも形質が類似していることが多くなります。従って、種間比較を行なう際には、系統的制約に依存した違いと、我々が着目する違い(例えば分布拡大種とそうでない種の違い)を区別して考える必要があります。

今回の勉強会では、なぜ系統関係を考慮した種間比較を行なう必要があるのか、どのように行えば良いのかについて、統計学・進化学・系統分類学の分野で幅広くご活躍の三中信宏さんにお話していただきます。次に、外来植物の侵略性に関わる種特性について、膨大なデータベースに基づいて解析された宮脇(安井)成生さんに、系統関係をどう考慮したのかも交えながらお話していただきます。

日時: 平成27年4月17日 17:00~19:30

場所: 秋田市にぎわい交流館AU(あう)

参加費: 無料

プログラム: 趣旨説明 下野嘉子(京都大学)

1. 三中信宏(農環研/東大・院・農生)  
「系統関係に基づく種間関係の復元: 系統学と生態学のはざまの30年」
2. 宮脇(安井)成生(株・建設環境研究所)  
「外来植物の侵略性と原産地における種特性の関係  
—米国原産植物の日本河川域への侵入に関する種特性の比較—」

#### 【懇親会】

日時: 平成26年4月17日 20:00~

場所: 秋田駅周辺の居酒屋

参加費: 割勘(学割有り)

#### 【申し込み】

平成27年4月8日(木)までに<http://goo.gl/forms/hLsSNXGF0I>の申込フォームにて、(氏名、所属、メールアドレス、懇親会の出欠)の情報をご記入ください。

問い合わせ先: [zassouwakate@gmail.com](mailto:zassouwakate@gmail.com)

若手の会 世話人 水口亜樹・今泉智通・下野嘉子  
外来雑草問題研究会 幹事 西田智子・黒川俊二・浅井元朗